

活動報告書

わたしたちの歩み



認定NPO法人
郡山ペップ子育てネットワーク

福島の子どもたちを

日本一元気に！

代表あいさつ	3
事業イメージ	4
わたしたちの歩み	5～6
調査研究事業	7～8
身体のケア事業	9～10
心のケア事業	11～12
人づくり事業	13～14
居場所づくり事業	15～24
活動の波及効果	25～26
役員紹介	27～28
会員状況	29～30
財務報告	31～32
法人について	33
ご支援のお願い	34

わたしたち、

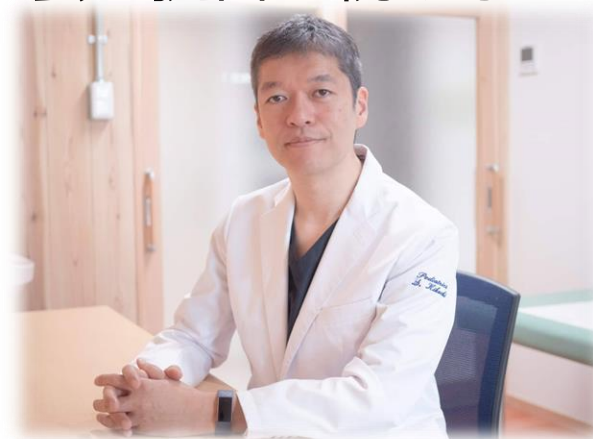
認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワークは、東日本大震災直後の低線量放射線環境下に生きる福島の子どもたちを、地域の大人がどう守り、どう育んでいけば良いかを実践するためのモデルを創ろうと、平成24年5月に発足しました。子どもの心身の育ちを科学的に観察しながら、子どもの発達に必須な運動遊びの環境を提供し、心のケア、地域や関係者への啓発活動に力を入れた活動を行っています。



代表あいさつ

未曾有の災害と言われた平成23年に発生した東日本大震災からあっという間に9年が経過しました。自然災害に加え放射線との戦いという未経験の環境下で、私たちは沢山のことを経験し学びました。大きな災害によって人々の生活は一変し、いつもの日常が完全に奪われてしまいます。特に子どもは環境の変化によって、容易に心身への影響をきたしてしまいます。更に、一度変わってしまった生活習慣はなかなか元には戻らず、失った体の健康や能力の回復には時間がかかることを身をもって経験しました。そのような状況から早く脱却するためには、何より子どもたちに“いつも通り”の日常をできる限り創り直すことが必要です。もちろん、元通りにはならないかもしれませんが、少しでも子どもたちにとって良い環境を創ろう、子どもが安心していただける居場所を整備しよう、という想いは、巡り巡って必ず地域を元気にしてくれます。少子化が益々深刻化する中で、将来を担ってくれる子どもたちの心身がちゃんと健やかに育まれるのか、私たち地域の大人はとても重要な課題を背負っています。

我が国では東日本大震災以降も100年に一度と言われる大きな災害がいくつも発生し、感染症の流行も続いています。私たちのこれまでの経験や知見は、これからの地域のため、日本のためにきっと役に立つと思います。そして、子どもたちが育つ成育環境に何が本当に必要なことなのかを実践し、社会に提言し続けることができたと思います。『福島の子どもたちを日本一元気に！』。今後とも、私たちの活動にご支援ならびにご助言を賜りますようお願い申し上げます。



認定NPO法人 郡山ペップ子育てネットワーク
理事長 菊池 信太郎

事業イメージ

5つの事業を中心に活動を展開、法人のロゴはそれぞれの事業を表しています。



子どもたちの問題を発見するために…

① 調査研究事業

発見された問題を解決していくために…

② 身体のカケア事業

③ 心のカケア事業

直接的アプローチ

④ 人づくり事業

⑤ 居場所づくり事業

間接的アプローチ

当法人の生みの親でもある郡山市子どもの心のカケアプロジェクトは東日本大震災で厳しい環境にあった子どもたちの「居場所を作ること」「PTSDを早期に発見すること」「地域が子どもを守ること」を基本方針とし活動を開始しました。

私たちもまた子どもたちの現状に関し客観的評価を行い、その結果に基づき子どもと大人にアプローチすることで理想的な成育環境の実現を目指していきます。

わたしたちの歩み

- 平成23年 3月 東日本大震災発生
郡山市震災後子どもの心のケアプロジェクト発足
8月 夏のキッズフェスタ開催（3日間）
9月 屋内遊び場設置準備委員会設立、ペップキッズ着工開始
12月 ペップキッズこおりやま オープン！



- 平成24年 5月 「NPO法人 郡山ペップ子育てネットワーク」設立
8月 夏のキッズフェスタ（inニコニコこども館）開催
12月 ペップキッズこおりやま オープン1周年・記念イベント
森まさこ少子化対策担当大臣（当時）ご訪問
- 平成25年 1月 根本匠復興大臣（当時）ご訪問
3月 安倍晋三首相ご訪問
7月 ペップバス運行開始
9月 天皇皇后両陛下（当時は皇太子ご夫妻）ご訪問



- 平成26年 3月 「郡山物語」出版
7月 第一回ふくしま遊び場サミット（in本宮市）開催
4月 リニューアルオープンセレモニー
12月 第二回ふくしま遊び場サミット（in郡山市）開催



- 平成27年 3月 ペップキッズこおりやま入館者累計100万人達成セレモニー
7月 第三回ふくしま遊び場サミット（in伊達市）開催



- 平成28年 5月 法人が「認定NPO」を取得
平成29年12月 リニューアルセレモニー
平成30年 4月 ペップキッズこおりやま入館者累計200万人達成セレモニー



- 令和 元年11月 ペップキッズこおりやま入館者累計250万人達成
令和 2年 2月 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館
5月 感染症拡大防止のため入場制限を設け開館



調査研究事業

地域の子どもが
健やかに育つことを科学的に見守ります。

東日本大震災は、子どもたちを取り巻く生活環境に大きな影響を及ぼしました。現在は震災前の生活環境に戻りつつありますが、わたしたちの調査によると、体力・運動能力の低下や肥満の増加がみられ、また心の問題を抱えたままの子どもも少なくないことがわかりました。これらが震災に起因するのか、他に起因するのかの調査検討は不十分であり、今後に有効な対策を講じるための基礎的な情報を収集し、現場で効果的に対応するための情報を提供することが大切です。郡山市の子どもたちの心と身体が健やかに育つことを目的として

- ①体力テスト（※1）
- ②生活習慣アンケート（※2）
- ③肥満調査（※3）

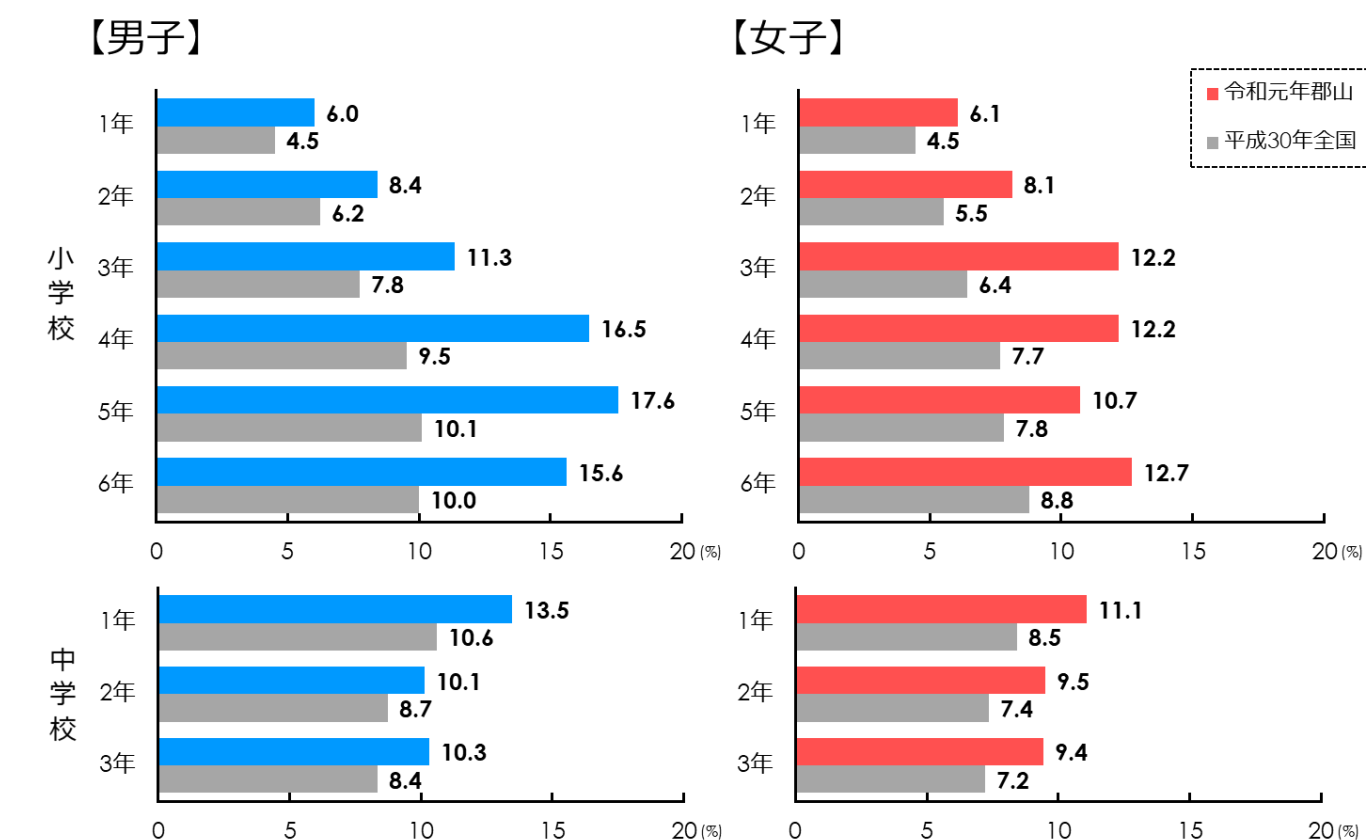
を行っています。
これらの結果を7年間にわたって専門家が解析し、子どもの成育環境がどのように体力・運動能力への影響・肥満や痩せに影響するのかを研究するとともに、結果等については各施設に情報を提供してきました。最低10年間の計画で調査を進めており、今後も関係施設の協力を得て継続して進める予定です。
以下、平成31年の調査概要について報告します。

生活習慣アンケート平成31年度実績

有効回答数 25,743名（回収率：83.9%）
 保育所：1,597名 幼稚園：2,654名
 小学校：14,980名 中学校：6,512名

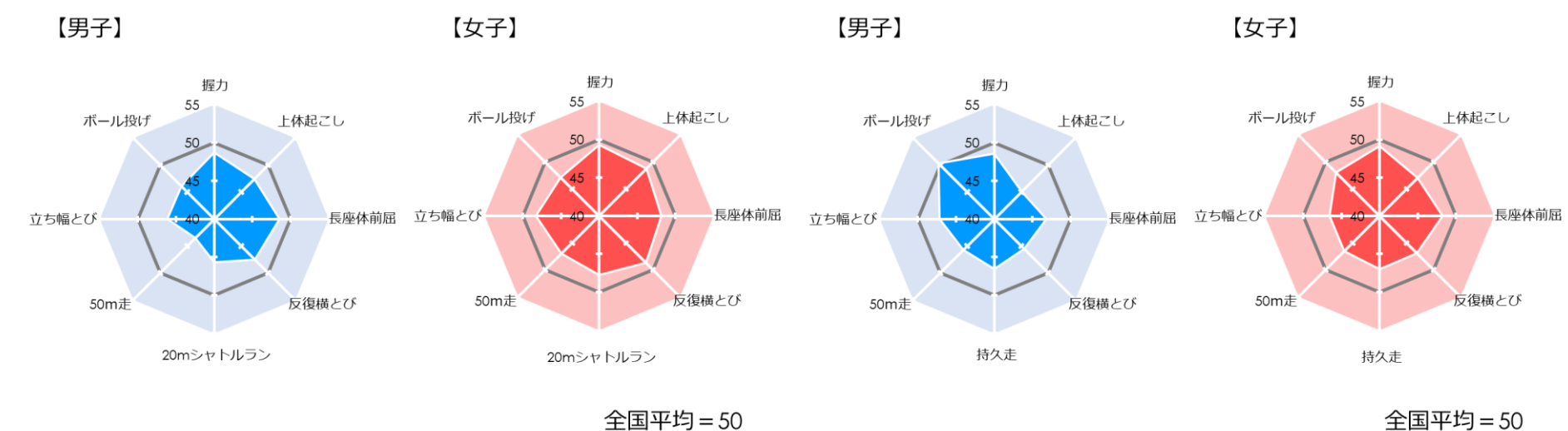
- （※1）「郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業」運動や食事についてのアンケート調査実施業務委託事業（郡山市より委託）
- （※2）郡山市体力テストおよび生活習慣アンケート調査業務委託事業（郡山市より委託）
- （※3）「新しい東北」先導モデル事業（子どもたちの心と体の発育見守り事業）（復興庁より平成25・26年度委託）

肥満傾向児の出現率の現状（令和元年調査）

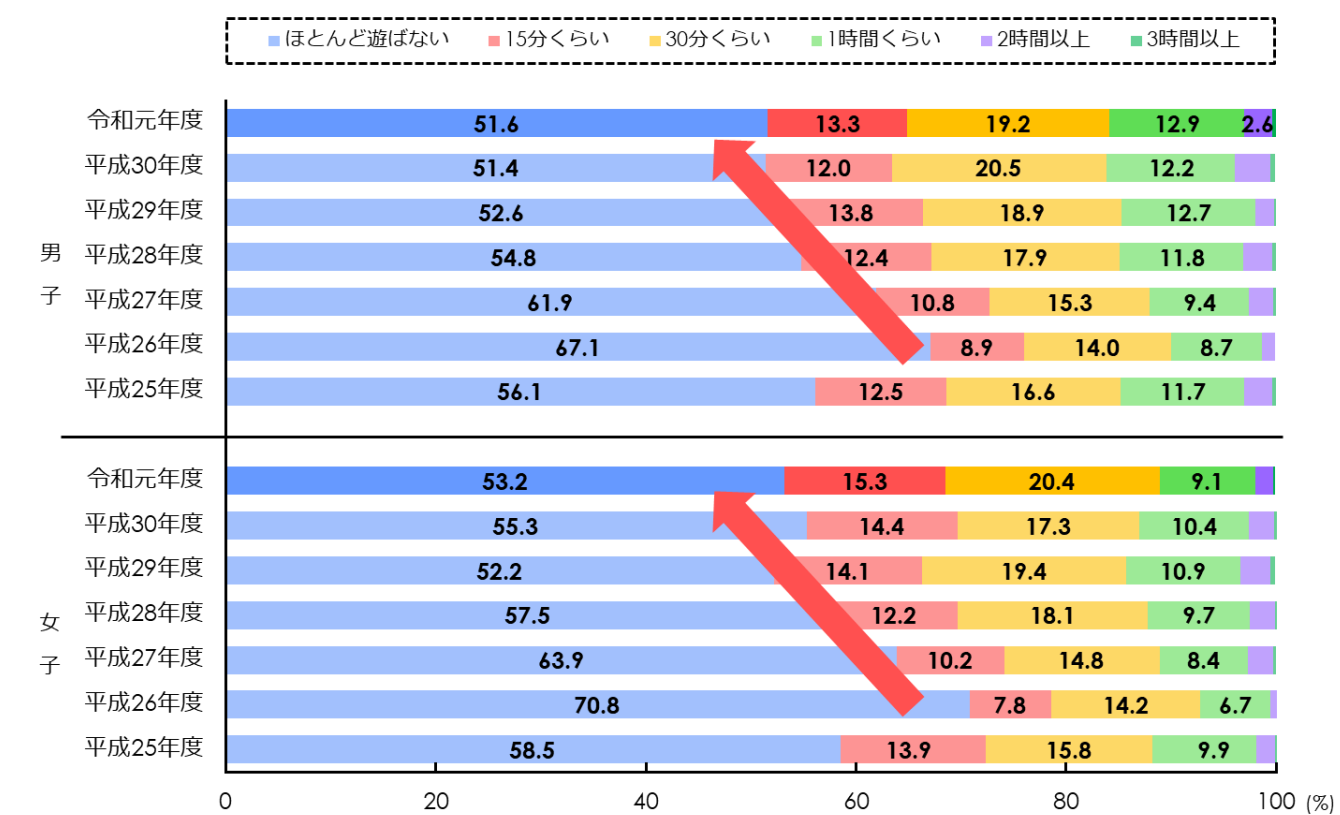


小学5年生の体力・運動能力の偏差値（令和元年調査）

中学2年生の体力・運動能力の偏差値（令和元年調査）



降園後の外遊びの時間の推移（幼児）



その場しのぎの取り組みではなく、
子どもの現状をもとに長期的な視点での取り組みが必要！

身体ケア事業

セミナーの開催を通じて、
子どもたちの発育発達を支援します。

子どもの健全な発育発達に必要な知識を学ぶ親子向けのワークショップや指導者向けのセミナーを実施しています。特に指導者向けセミナーでは食に関わる職業の方々の意識改革や、参加者同士の情報共有の場となることを目指しています。

ペップキッズこおりやまでの食育イベント

利用者の親子を対象に、アレルギー対応や福島の郷土食等について調理を通して学ぶワークショップを開催しました。先生方からは調理方法の他、栄養や楽しく食べる大切さのお話もしていただきました。

令和元年度開催実績

〔開催数〕 3回

〔利用者数〕 親子35組（93名）

〔メニュー〕

①ちまきとリンゴビール（菊池 節子先生）11/17・2/16（全2回）

②かぼちゃプリン（長谷川 実穂先生）10/18（全1回）



各種セミナーも開催しました



平成27年9月～平成28年3月

「子どもの食生活講座」

小児の専門家であり肥満対策にも詳しい県外の先生方をお招きし、各教育機関の先生方・指導員・食育に携わる先生方を対象に、食育に関する系統講座を開催しました。（全7回）

開催内容：乳幼児期・学童期の肥満予防のための食生活
学童期の生活環境と運動遊びの実践 など

参加者数計：262名

平成29年10月～平成30年3月

「ふくしまの子ども達の子育て・子育てを考える講演会」

子どもに関わる方々への情報提供とより専門性を高めるための研修会の一環で、日々子どもたちと向き合っている管理栄養士・スクールカウンセラーの先生方などをお招きし、講演会を開催しました。

開催内容：子どもの読み聞かせ、心、排泄 など

参加者数計：274名



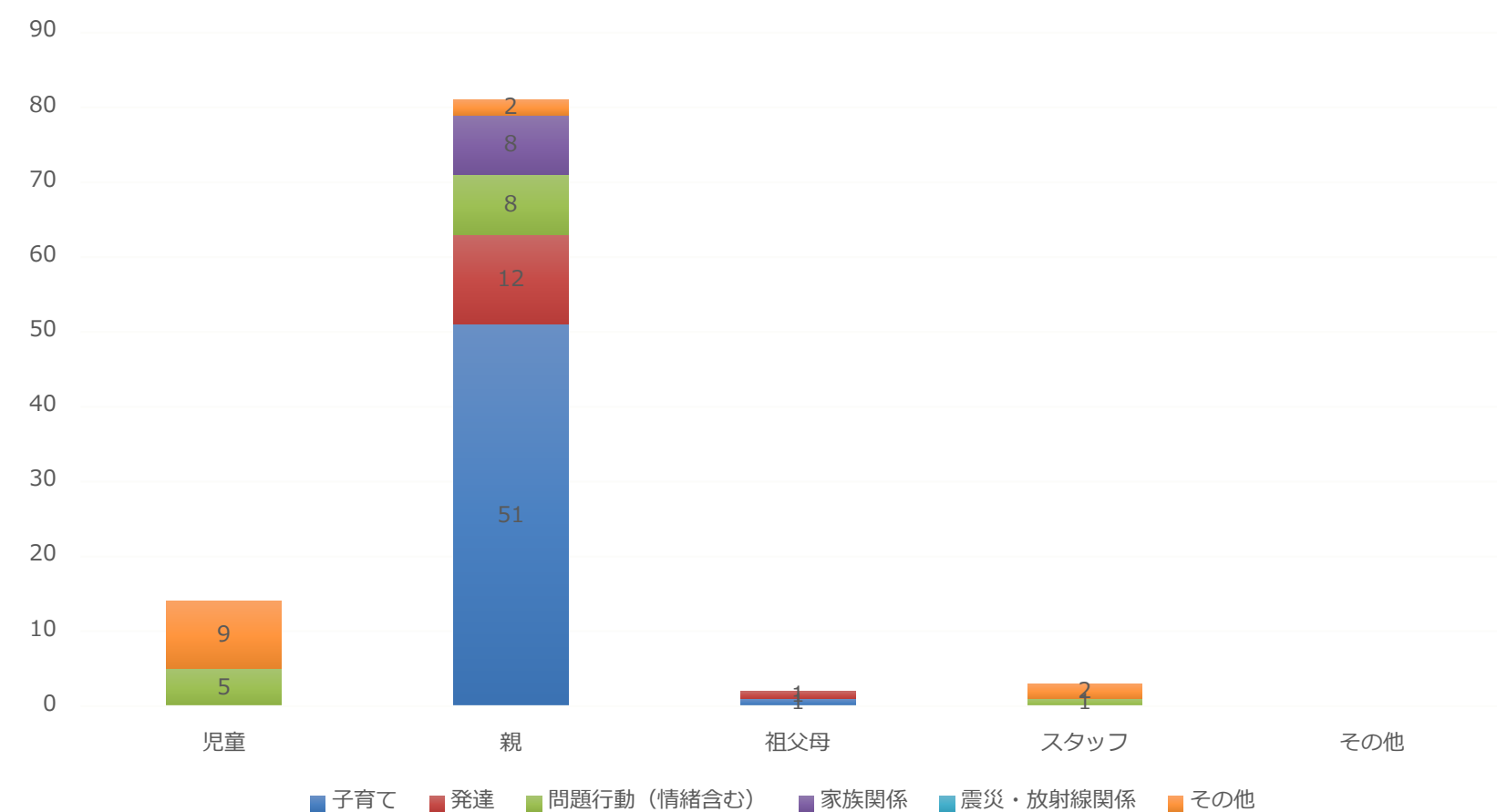
心のケア事業

子どもの心のケアに関する啓発・相談活動、遊び場内等での親子の相談室開設、専門的治療への連携を行います。

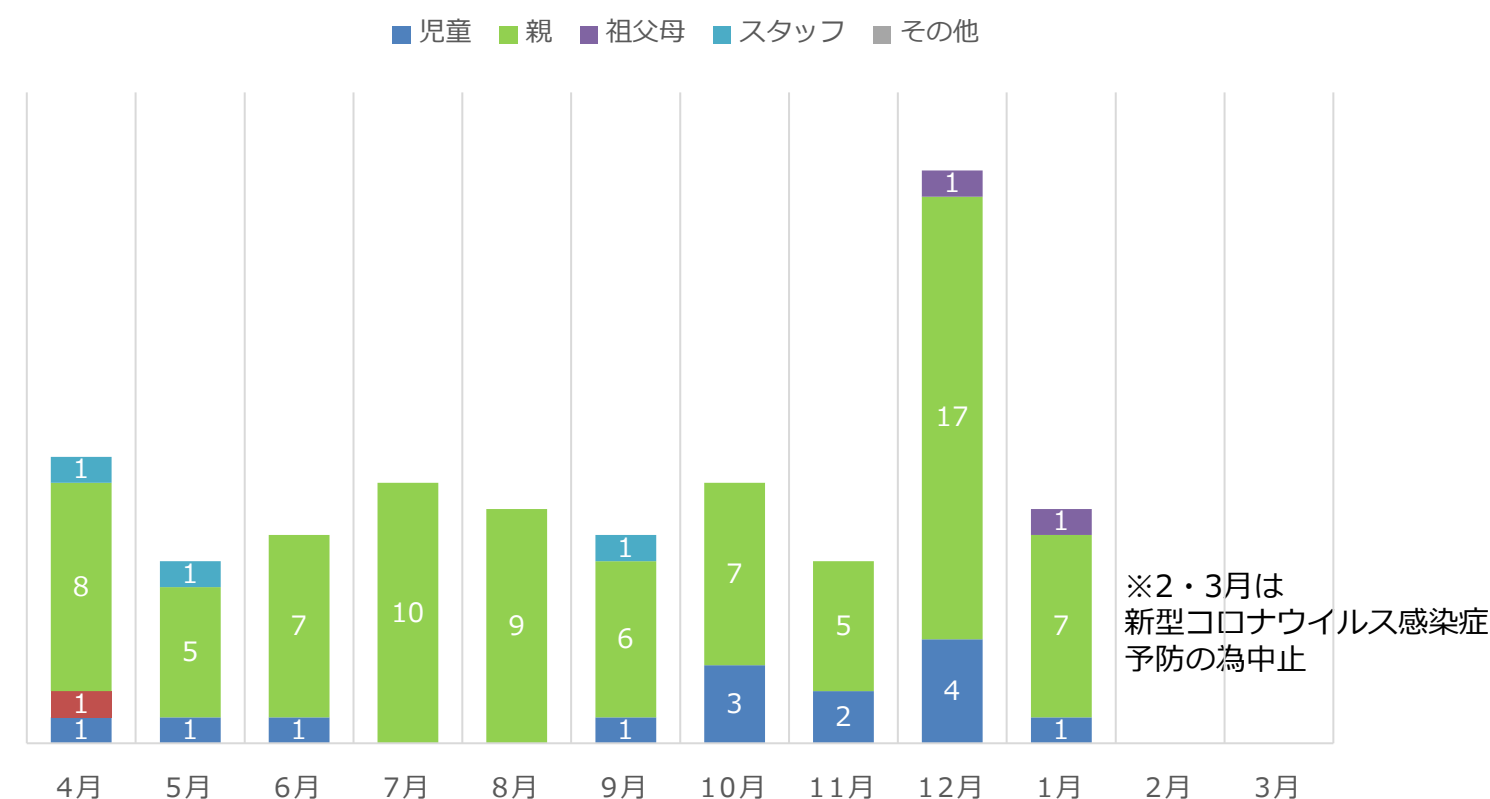
週に一回程度、他団体と連携し専門家である臨床心理士への相談の機会を提供します。

遊び場内で開設することで気軽に相談できるようになり、「臨床心理士へ相談すること」への敷居を低くします。

令和2年度相談内容

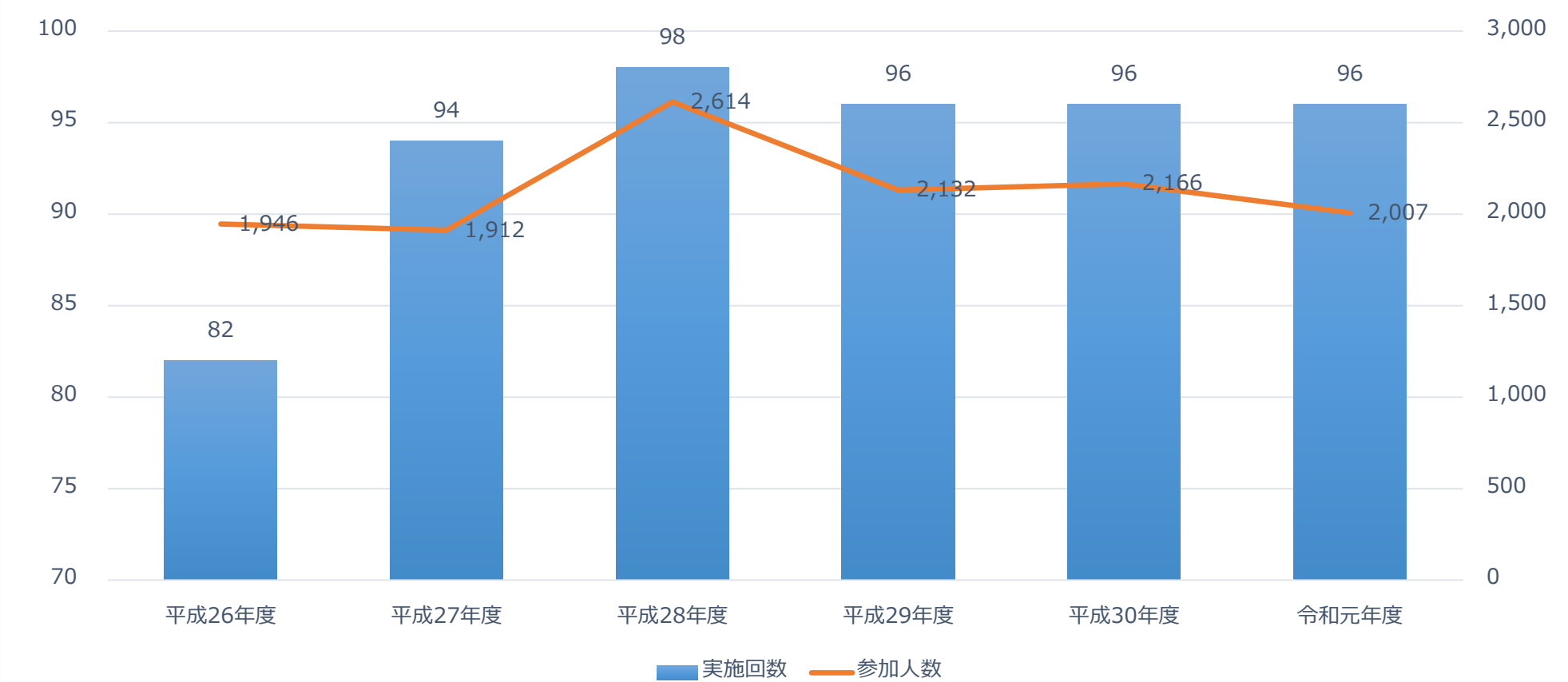


月別相談件数



郡山市内のボランティア団体と連携して行っている読み聞かせ事業(※)は「郡山市震災後子どもの心のケアプロジェクト」発足直後から始められた活動のひとつです。絵本の読み聞かせは、子どもや保護者が安心できる環境を創り、家庭での親子関係をより良く構築するためのツールでもあります。

読み聞かせ事業開催実績



参加者の声：

- ・子育てに追われる日々ですが、絵本の時間が自分のリラックスにもつながり、楽しめた。
- ・子どもが絵本に近づいてのぞき込んだりすごく興味を持っている様子が見られて良かったです。
- ・絵本を通じて子どもとコミュニケーションが取れた。
- ・初めは恥ずかしがっていたけれど、徐々に慣れていきみんなと声を出して読むことができたので少しの時間だけでも成長が感じられる。

※ 絵本の読み聞かせ実施業務委託（郡山市委託事業）

人づくり事業

子育て・子育て支援人材の育成を行います。

子どもの発育発達の特徴を理解し、理論的背景を学ぶ座学に加え、子ども自らが体を動かす楽しさや心地よさを実感できる運動遊びの実技を体験できる講演会と研修会幼稚園教員、保育士、小中学校教員、医療関係者など、子どもに関わる指導者を対象に毎月、実施しています（※）。

Child Physical Health Provider の養成・派遣を目指しています。

Child Physical Health Provider（CPHP）とは？

遊びや運動指導のみにとどまらず健康全体に関わる知識を身に付け、子どもの育ちをトータル的にサポート・アシストする子どもの健康運動指導員です。

Child Physical Health Providerに求められているもの…

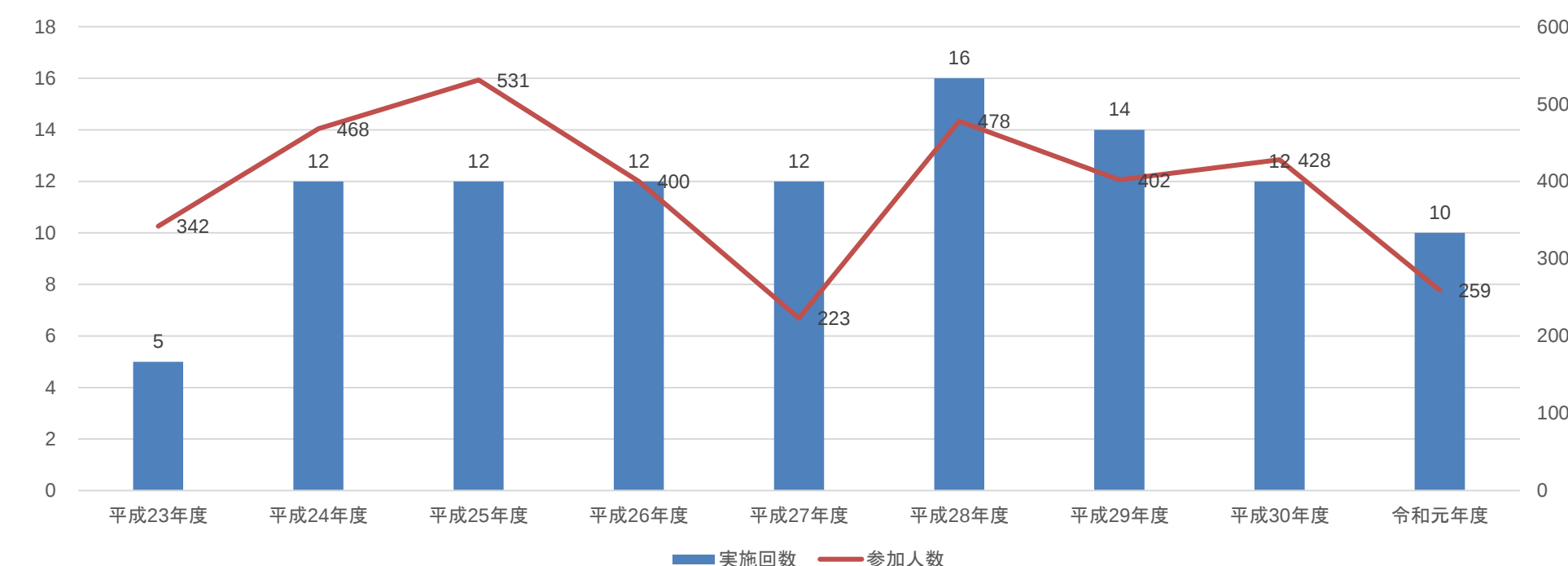
- ・子どもの運動遊びを理解している
- ・体をつくるための教育を理解している
- ・心に問題を抱えた子どもを早期に発見する
- ・学校、幼稚園、保育所、遊び場などで活動する
- ・子ども同士のコミュニケーションを円滑化する繋げ役となる
- ・地域の子どもの成育環境を見守るリーダーとなる



PEP Up 講習会を毎月開催しています。

保育・教育現場の先生や学生を対象に室内でのからだ遊びの大切さを教えるために平成25年度から始まった運動実技講演会及び研修会（PEP Up講習会※）は、令和元年7月に第100回を迎えました。100回開催を目標にはじまったこの講習会では、この回までに延べ3,000名以上の方にお集まりいただきました。

PEP Up講習会の参加実績



※ 運動実技講演会及び研修会実施業務委託（郡山市委託事業）

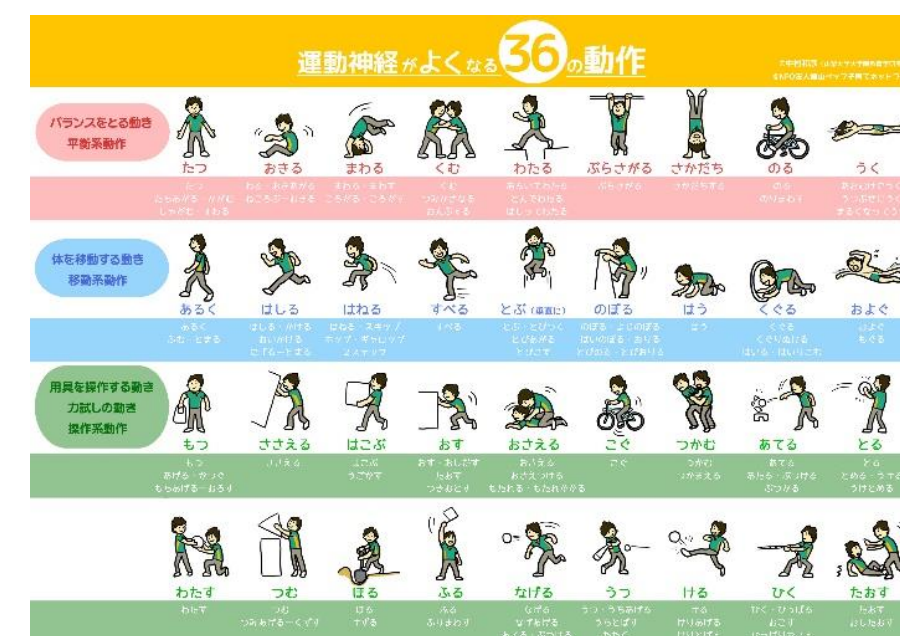
居場所づくり事業

すべては子どもたちの
元気と笑顔のために。

ペップキッズこおりやまは東北地域最大級の屋内遊び場です。

東日本大震災による環境変化で、外で自由に遊べなくなった子どもたちへ「のびのび遊べる場所を提供したい」という想いで理事長が中心となって開催した「夏のキッズフェスタ」。それは一刻も早い常設遊び場の必要性を実感させられる結果となりました。「子どもたちにクリスマスプレゼントを！」のスローガンのもと、郡山市や郡山医師会、株式会社ヨークベニマル様をはじめとした行政や地域の民間企業、地元のたくさんの方々のご協力を得て、構想からわずか3ヶ月後の平成23年12月23日にオープンしました。そのオープンに関し、中心となって企画構想を一緒に練っていた方々が、現在の当法人の理事となっています。

平成26年から郡山市の委託を受け「郡山市元気な遊びのひろば」として運営を行っています。



人の体の動きは36種類に分類されると言われています（山梨大学中村和彦教授らの研究）。この36種類の動きを、幼少期にいかに沢山の種類を、そしてどれだけ頻回に繰り返し経験したかが、その後の運動神経の発達に寄与しているとされます。このような多種多様な動きを確保するためには、体を使った遊びを経験しなくては いけません。場内に設置されている大小の遊具には、子どもたちがたくさん動かし、そしてその動きがより洗練されていくような工夫が凝らされています。さらに、ペップキッズこおりやまの最大の特徴として、場内には多くのプレイリーダーが常駐しています。子どもたちに面白楽しく体を使った遊びや手先を器用に使う遊びを提案し、そして子どもたちがもっと遊びにのめり込めるように導いてくれます。プレイリーダーの存在によって、遊び場は更に子どもたちにとって魅力的かつ刺激的な場に変化していきます。また、子ども同士、子どもと大人のコミュニケーションの構築に大きな役割を担っています。

団体利用

普段は個人(親子)で来る子どもたちが、団体で来るとどんな風に遊びが展開されるのか。いつも一緒に幼稚園等で遊んでいる子どもたちがペップキッズこおりやまに行くとなると遊びが展開されるのか。子どもにとっては、個人での利用だけでなく団体だからこそできることにも意味があります。また、さまざまな理由で個人(親子)で遊びに来ることができない子どもにとっても団体利用はペップキッズこおりやままで遊ぶきっかけとなっています。このようにペップキッズこおりやまを団体で利用していただくことで、子どもたちのあそびに変化を付けることができます。



PEPバス

平成25年7月に、(株)ヨークベニマル代表取締役会長、大高善興様より「たくさん子どもたちが遊び・学び・育つをペップキッズこおりやま体験できるように、ぜひ活用して欲しい」と、当NPO法人に寄贈いただきました。

アクティブ

親子ではない「友達同士」で思う存分遊べる空間の中で、団体利用でしか来ることができない子どもたちの普段の生活の遊びへの意欲やきっかけづくりを安全に確保することを目標としております。



キッチン

お友達と一緒に調理体験を通して、作ること・食べることの楽しさ、食材への興味や関心を育て、一人ひとりの感動や驚き・喜びなど心身ともに健やかに成長する子どもたちのお手伝いをさせて頂いております。

お友達と相談し協力しながら遊びを進めていくことでダイナミックな楽しい遊びが展開していきます。協力して遊ぶためには、自分の意見ばかり主張するのではなく、相手の動きに自分の動きを合わせて、楽しさやおもしろさを味わったりしながら、遊びの中で人との関わりかたを身体全体を動かして体験することができます。

平成31年度 団体利用累計

アクティブ…利用団体数：234 利用者数：9,545人
(引率：1,176人/子ども：8,369人)

キッチン…利用団体数：51 利用者数：763人
(引率：125人/子ども：638人)

遊び

身体の発達が一生でもっとも著しい幼児期に、
多様な体の動きを経験して身につけることは、
その後に健やかな心身の成長を促します。

ランニングコース
全力疾走したり、かけっこが
出来る約30mのコースです。



ボールプール
転倒しないようにバランスを
とりながら、ボールを投げた
り、足の裏でボールを感じる
ことで、バランス感覚を養い
ます。

エアトラック
空気の反発力を利用して
飛ぶ・跳ねる・走る
の動作を行います。



PEPkids
Koriyama

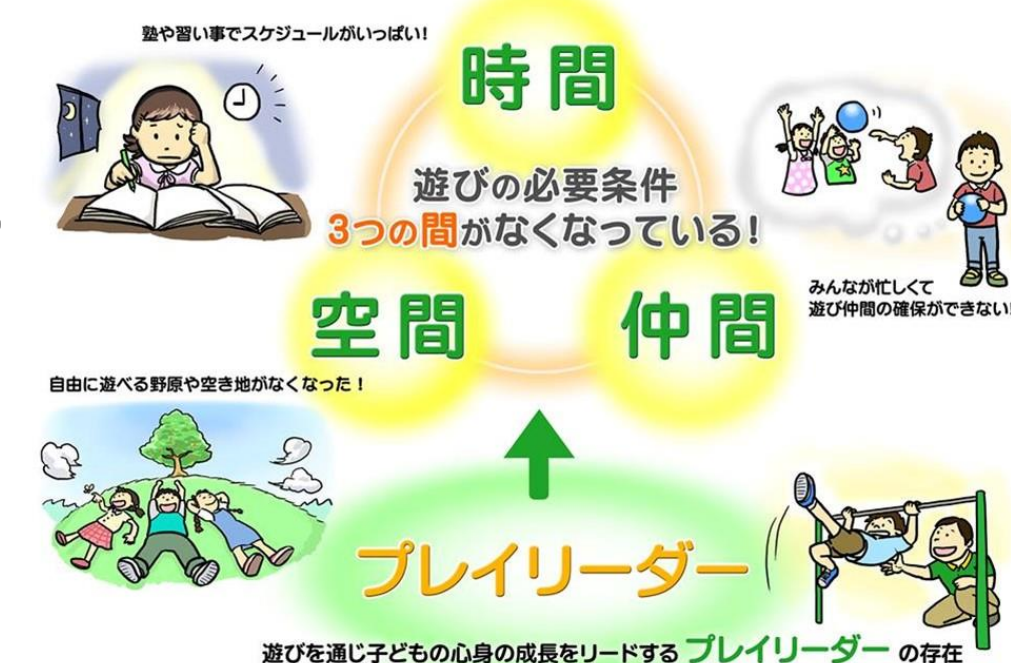
アクティブ基本情報

第1クール 10:00~11:30
第2クール 12:00~13:30
第3クール 14:00~15:30
第4クール 16:00~17:30

※90分の完全入れ替え制
※入場無料

プレイリーダーとは

言葉のとおり、子どものプレイをリードしてくれる大人です。
子どもの遊びには3つの“間”が必要であると言われていました。か
つてはガキ大将のような遊びのリーダーがいたり、異年齢で遊ん
でいたり、子どもの遊びが自由に発展し、そして伝承されてきま
した。しかし、日本では社会事情の変化によってその3つの間が確
保されなくなったり、ガキ大将の存在がなくなったり、遊びが子
どもの間で伝わらなくなってしまいました。そこで、子どもの本
来持っている自発的な“遊びたい”という気持ちを引き出し、遊び
を伝え、そしてさらに子どもが遊びにのめり込むように仕向ける
存在が必要です。プレイリーダーはまさにその役割を担い、
時として子どもにとっての
信頼できる存在でもあります。
ペップキッズこおりやまと他の
遊び場が最もちがうところは、
多くのプレイリーダーが常に
いるという点です。



子どもの好奇心×親子が笑顔になれる場所

学び

親子で触れ合いながらチャレンジできる
各種イベントを開催。
子どもたちの知的好奇心や感性を引き出し、
豊かな精神を育みます。

ベビー

- ・ベビーマッサージ
- ・ハーフ/バースデーイベント
- ・ベビーリトミック

スキンシップを通して、赤ちゃんやママの心の安定を

- ・お家の外へ出かけるきっかけづくり
- ・他の保護者とのコミュニケーションの場
- ・赤ちゃんの体はどの程度動かしてあげてもいいの？



未就園児

- ・親子リズム体操
- ・親子でリトミック

自己表現を受容し、子どもの承認欲求を満たす

- ・ルールに沿った遊びよりも、自分の思いのままに自己表現できるイベント
- ・同世代の子ども同士触れ合う機会（園生活が始まる前の社会体験）



「それぞれの年齢の発育・発達・興味に合わせた知的好奇心
や感性を引き出し、豊かな精神力をはぐくむ」
親御さんにとっては、お子さんの成長を感じられるように、
お子さまには純粋に「楽しい！」とかんじてもらえるような
イベントを提案してまいります。

未就学児

- ・英語って楽しい！！
- ・つくってあそぼう
- ・制作イベント

知る楽しさを体感できるイベントを

- ・参加者同士協力するなど、社会性を育むイベント
- ・自己表現を認め、自己肯定感を育む
- ・ルール性のあるイベントの提案



就学児

- ・科学実験教室
- ・ハンカチーフに絵を描こう！
- ・食育イベント

学びと好奇心にアプローチ

- ・学校の授業とは異なるアプローチで知的好奇心を引き出す
- ・友達同士で参加出来、夏休み等の思い出作り



子どもの好奇心×親子が笑顔になれる場所

平成31年度イベント実施回数

バースデーイベント…11回 製作イベント…19回 読み聞かせイベント…4回
ベビー対象イベント…31回 幼児～小学生対象イベント…14回



バースデーイベント



ベビーマッサージ
宮田 裕子 先生

ベビトレヨガ
あんずミルク
安齋 麻衣 先生

ベビーリトミック
プチママン
ママン・ムジカーザ



キットパス
宮田 裕子 先生

ベビーサイン
スージ・トルトーラ先生

ベビーマッサージ
あんずミルク
安齋 麻衣 先生



親子でリトミック
プチママン
ママン・ムジカーザ

親子リズム体操
プチママン
峯淳子 先生

親子であそびヨガ
國分 裕子 先生



科学実験教室
日本大学工学部
加藤 隆二 先生

お買い物イベント
(公財)ヨークベニマル
文化教育事業財団

英語って楽しい!!
KENT英会話スクール



ハンカチーフに
絵を描こう!
ブルーミング中西(株)

ボノロンおはなし会
(株)セブン銀行

絵付け体験
ワークショップ
デコ屋敷 大黒屋
橋本 彰一 先生



母の日イベント

父の日イベント

敬老の日イベント



つくってあそぼう
～音楽会～
おもちゃの木

ハロウィンイベント

クリスマスイベント

令和2年度イベント実施計画

バースデーイベント 12回 製作イベント10回
ベビー対象イベント 31回 幼児～小学生対象イベント 16回
読み聞かせイベント 16回 を予定しています。

育つ

五感を使って季節の野菜や果物を中心とした食材に親しむことができる調理体験を通して、子どもたちのみずから食べようとする気持ちを育みます。



子どもたちが元気に遊ぶための体をつくるために食育を行う「ペップキッチン」も、毎日活動しています。こちらはその取り組みと実績が認められ、令和元年に「第8回健康寿命をのばそう！アワード（母子保健分野）：厚生労働省子ども家庭局長賞 団体部門 優良賞」を受賞しました。

1クール
10:30～
対象年齢：2歳以上



2クール
13:30～
対象年齢：3歳以上

3クール
16:00～
対象年齢：4歳以上



令和元年6月メニュー

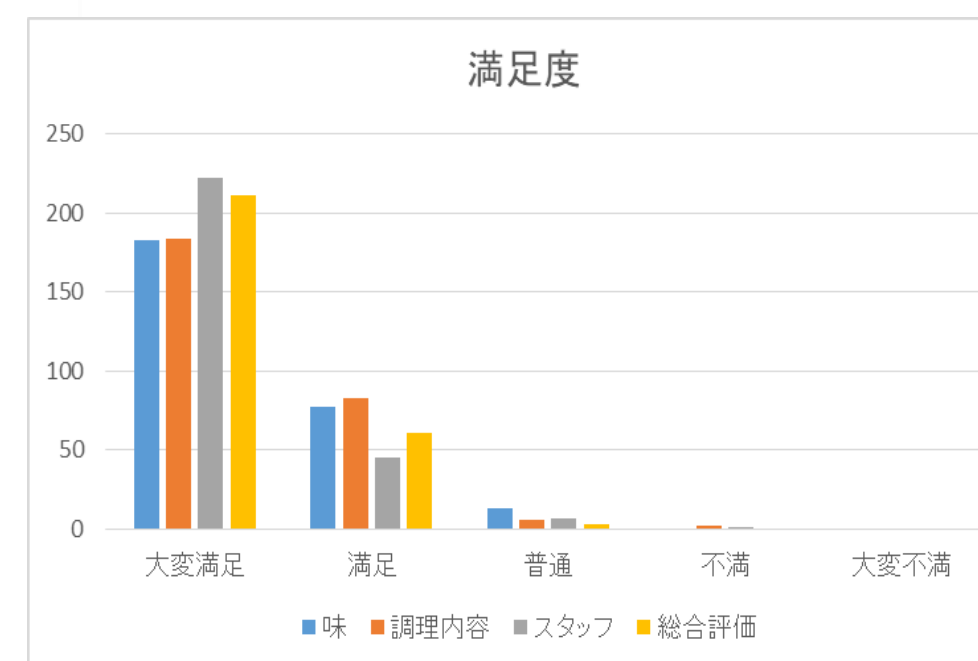


「今まで食べられなかったものが、自分で作ったものだから食べれるようになった」というお言葉の他、保護者の方も知らなかった「新たな食べれるもの、好きなものを知ることができた」というお声をいただいております。



長年ペップキッチンに通ってくださっていた方々は、調理を通してお子様の出来ることが実際に目に見え、成長を実感されているようです。

平成31年度キッチン利用者アンケート結果（集計数：276）



・料理だけではなく数字や礼儀などちゃんと丁寧に教えてくれたのでありがたいです。

・キッチンがとても好きのようで、子どもが楽しそう、嬉しかったです。

・子どもが食材を覚えるようになりとても良い経験になった。貴重な体験をありがとうございます。

・スタッフの皆さんには、いつも明るく丁寧＆子どものペースに合わせて優しく教えていただけるので、年齢の低い娘も安心して参加出来ました。また帰省した際は利用したいです。

活動の波及効果

受賞歴

平成25年11月「子どもと家族若者応援団表彰：内閣大臣賞」
平成26年 1月「ふるさと大賞」（街こおりやま社）
2月「2013年度第4回地域再生大賞」（共同通信社）
7月「第8回キッズデザイン賞」
（日本大学工学部郡山キッズ健康増進プロジェクトチームとの共同事業）
令和 元年11月「第8回健康寿命をのばそう！アワード（母子保健分野）：
厚生労働省子ども家庭局長賞 団体部門 優良賞」
（厚生労働省）

助成金

平成24年度
・「子どもサポート基金」（第3期） （公益財団法人 東日本大震災復興支援財団 様）
・フクシマ スム プロジェクト 福島子ども支援NPO助成 2012年度
（サントリー・ホールディングス様、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン様、
一般財団法人地域創造基金みやぎ様）
平成25年度
・平成25年度「新しい東北」先導モデル事業（子どもたちの心と体の発育見守り事業）（復興庁）
・「郡山市子どもの健康運動者指導員養成における諸経費」として（一般社団法人日本小児科医会様）
・2013年度フィランソロピーバンク「5のつく日。JCBで復興支援」
（株式会社ジェーシービー及びプログラム参加130社様、公益財団法人日本フィランソロピー協会様）
・「郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業」として （公益社団法人日本小児科学会 様）
・フクシマ スム プロジェクト 福島子ども支援NPO助成 2013年度
（サントリー・ホールディングス様、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン様、
公益財団法人地域創造基金さなぶり様）
・2013年度フィランソロピーバンク「愛と平和のチャリティーコンサート2013」を通じた寄付
（明治安田生命保険相互会社様、公益財団法人日本フィランソロピー協会様）
平成26年度
・平成26年度「新しい東北」先導モデル事業（子どもたちの心と体の発育見守り事業）（復興庁）
・2014年度フィランソロピーバンク「愛と平和のチャリティーコンサート2014」を通じた寄付
（明治安田生命保険相互会社様、公益財団法人日本フィランソロピー協会様）
平成27年度
・公益信託うつくしま基金 第13回助成金 （東邦銀行様）
・ふくしま未来基金 2015年度 （公益財団法人パブリックリソース財団様）
・2015年度フィランソロピーバンク「5のつく日。JCBで復興支援」
（株式会社ジェーシービー・プログラム参加136社様、公益財団法人日本フィランソロピー協会様）
・2015年度社会福祉事業【NPO基盤強化資金助成】「認定NPO法人取得資金」助成
（公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団（現名称：公益財団法人SOMPO福祉財団）様）
平成28年度
・ふくしま未来基金 2016年度 （公益財団法人パブリックリソース財団様）
・公益信託うつくしま基金 第15回助成金 （東邦銀行様）

メディア掲載

新聞 朝日新聞 読売新聞 毎日新聞 日本経済新聞 福島民報福島民友 北海道新聞
教育医事新聞
テレビ NHK テレビ朝日 フジテレビ 福島放送 福島テレビ 福島中央テレビ テレビユー福島
イタリア国営テレビ
ラジオ NHKラジオ 福島FM ラジオ福島

「ペップキッズこおりやま」利用に関するアンケート調査結果

調査団体：一般財団法人とうほう地域総合研究所
調査目的：本施設が郡山市にもたらす経済波及効果の算出や利用者の満足度などから、本施設運営の有効性について明らかにする。
調査時期：2019年3月
調査方法：「ペップキッズこおりやま」利用者に対する調査票配布・回収
回 収 数 ：508件

調査結果（一部）



※上記設問にはいずれも「あまり必要でない」「全く必要でない」の選択肢がありましたが、選択した利用者はいませんでした。
利用家族の9割以上が「ペップキッズこおりやま」のオープンを高く評価しており、ほとんどの利用者家族が今後の存続を強く望んでいる。

A. 満足・高評価
本施設は、運動系から知育まで種類豊富な遊具、食育に役立つ「ペップキッチン」、衛生的な無菌砂場などを備え、また天候に左右されずに利用できる全天候型であることから好評を得ている。また、コミュニケーションをとりやすい施設であることや無料のサービス提供、スタッフの対応の良さを評価する意見もあった。

B. 要望
食事や遊びのスペースの追加やインターネットによる利便性向上、人気コーナー「ペップキッチン」の開催回数を増やしてほしいなどの要望がみられた。一方で、子どもの年齢差・体力差に応じた遊び場スペースの分割を求める声もあった。

「ペップキッズこおりやま」が郡山市にもたらす経済波及効果

(1) 総合効果
「ペップキッズこおりやま」が郡山市にもたらす経済波及効果の総合計額は11億22百万円と推計される。内訳は、利用家族の消費支出が9億85百万円、従業員の消費支出が1億22百万円、設備投資が15百万円と算出される。

(2) 郡山市外からの消費流入
利用家族の約3割が郡山市以外のため、利用家族の消費支出による経済波及効果9億85百万円の3割に当たる3億円を毎年、郡山市内に呼び込んでいるといえる。

役員紹介

副理事長 菊池 亮介 <株式会社 蔵場>

未曾有の災害に見舞われ疲弊したこの地域の未来に、「希望」という名の光を灯すため、微力ながらご協力させて頂きました。

副理事長 高田 哲也 <株式会社 中央会計センター>

日本の子どもたちの体力は1985年をピークに年々低下し続けています。主な原因は生活習慣や食生活の変化によるものです。未来の希望である子どもたちが元気に明るく健やかに育つために「ペップキッズこおりやま」にはプレイリーダーがいます。これからも楽しい遊びの中から子どもたちの体力の向上を支援し続けていきます。

理事 太田 善雄 <一般財団法人 太田総合病院>

未来を担う子どもたちのために、わたしたち大人ができること。
多くの大人たちの思いや支えによって、ペップキッズこおりやまの運営をはじめとする事業が成り立っています。お力添えを頂いている全ての皆様や成長の機会を与えて下さった方々への感謝を胸に、これからも活動を続けて参ります。

理事 高橋 陽子 <株式会社 柏屋 青い窓の会>

子どもは大きな可能性を秘めた種であり、その成長には豊かな土壌が必要です。ペップキッズこおりやまは、遊びを通じ、子どもの健康と豊かな感性を育む、大地のような存在です。
その大地を大切に耕しながら、これからも子どもの笑顔の花でいっぱいになるよう、力を尽くして参りたいと思います。

理事 今泉 壮規 <学校法人今泉学園 双葉・双葉第二幼稚園>

子ども達の笑顔が多ければ多いほど、これからの郡山の明るい未来が見えてくると思います。毎日笑顔をたくさん作っている「ペップキッズこおりやま」さんの様に私も、一人でも多くの子ども達が笑顔になれる活動に積極的に取り組んで行きたいと思います。そして、「福島の子どもたちを日本一元気に」を目指しましょう。

理事 佐藤 祐子 <有限会社佐藤和司商店>

子供の「笑顔」に元気をもらい日々生活しています。
もっともっとかわいい「笑顔」になれる場所「ペップキッズこおりやま」をこれからも沢山の子ども達に利用していただきたいです。

理事 小林 宇志 <郡山市>

新型コロナウイルスがもたらした今の状況は、東日本大震災後の閉塞感を思い出させます。「新たな生活様式」の中でも、子どもたちが思い切り遊び、健やかに成長できるよう、私たち地域が子どもたちの生きる環境を再構築しなくてはなりません。どうぞ引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

理事 三澤 隆 <株式会社ヨークベニマル>

東日本大震災発生から半年後の2011年9月、「クリスマス迄には子ども達に夢と希望を」との思いで倉庫を改造して3か月で開館させた「ペップキッズこおりやま」。
「大人の役目」を果たそうと関係者が毎日奔走した後の開館初日、館内を一斉に駆け回る子ども達のエネルギーに郡山の未来を感じた12月23日でした。

理事 野口 雅世子 <社会福祉法人 ほっと福祉記念会>

2011.8月末、夏のキッズフェスタが開催され、大型遊具で大歓声を上げて元気に遊ぶ子供たちの笑顔が、ヨークベニマルの大高社長に届けられ、それがきっかけとなり、わずか三か月でペップキッズこおりやまが誕生しました。大人の夢と子供の夢が一緒になった瞬間でした。
郡山の元気と笑顔はペップキッズこおりやまから！！これからも応援していきます。

監事 伊藤 清郷 <陸奥テックコンサルタント株式会社>

震災からたった9カ月での開館。諦めず情熱を胸に追い続ければ大きな夢も成し遂げられる。そう学んだことは今も、私の人生に大きな影響を与えています。
「運命は性格の中にある」というこの言葉通り、菊池理事長の人柄がペップキッズこおりやまを生み出しました。屋内遊び場設置準備委員会事務局長時代を懐かしく思います。

監事 町田 敦 <弁護士法人 町田法律事務所>

私自身、三人の子供がいますが、天候に関係なく、笑顔で遊べる環境が整っていることは、恵まれていると感じます。また、私は、県外から郡山に家族で来る友達がいると、ペップキッズこおりやまに案内します。皆さん、遊具が充実した施設が無料で利用できることに驚かれます。今後も郡山の誇りであるペップキッズこおりやまが継続することを願います。

会員状況

令和2年3月末現在会員状況

正会員（個人） 29 会員
 正会員（団体） 11 会員
 賛助会員（個人） 120 会員
 賛助会員（団体） 75 会員

これまでにご支援くださった皆様

郡山市
 株式会社ヨークベニマル
 株式会社ライフフーズ

開設にあたり支援くださった皆様

※順不同、敬称略

株式会社ボーネルンド	ABC Cooking Studio
大槻電機通信株式会社	佐藤工業株式会社
高柳電設工業株式会社	株式会社オカムラ
公益財団法人ヨークベニマル文化教育事業財団	株式会社波デザイン
郡山市震災後子どもの心ケアプロジェクト	セコムエンジニアリング株式会社

ご寄付でご支援くださった皆様

※順不同、敬称略

株式会社協和	株式会社フォーマインド	株式会社郡山水産
あづま食品株式会社	富士ゼロックス福島株式会社	伊藤忠食品株式会社
イセ食品グループ	三井食品株式会社	株式会社新進
コンフェックス株式会社	株式会社東邦銀行	スターゼン株式会社
株式会社ネギ	株式会社郡山大新青果	株式会社高速
株式会社ニラク	佐藤株式会社	サントリー酒類株式会社
国分東北株式会社	株式会社エフピコ	メロディアン株式会社
株式会社日本アクセス	株式会社コンピューターシステムハウス	国際ソロプチミスト郡山

他多数



株式会社ヨークベニマル



株式会社ライフフーズ



株式会社アサヒ研創



陰山建設株式会社



株式会社コンピューターシステムハウス



国際ソロプチミスト郡山



株式会社NTT東日本



東京三鷹ロータリークラブ

財務状況報告

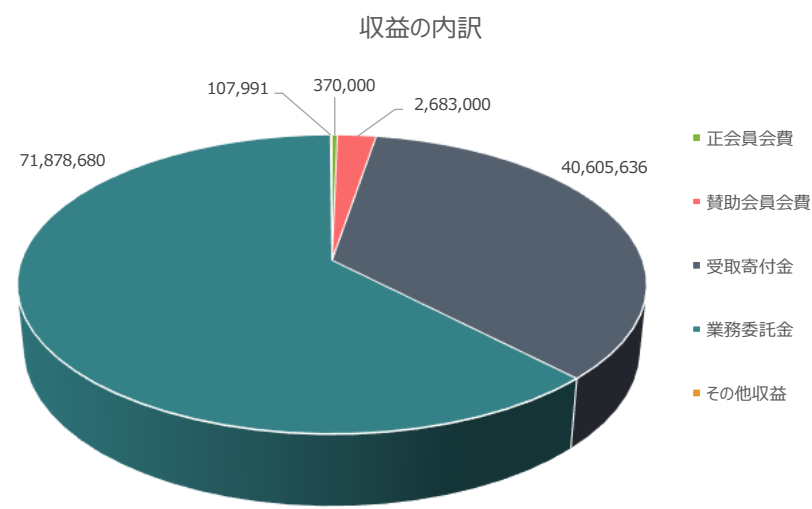
当法人は平成24年5月22日に法人設立致しました。その後平成28年5月10に認定特定非営利活動法人として認定されました。
当法人は認定特定非営利活動法人であり、「特定非営利活動」を行うことを主な目的としております。

会計の目的

- ・NPO法人の会計報告の質を高め、NPO法人の健全な運営に資すること。
- ・財務の視点からNPO法人の活動を適正に把握し、継続可能性を示すこと。
- ・NPO法人を運営するものが、受託した責任を適切に果たしたか否かを明らかにすること。
- ・NPO法人の財務諸表等の信頼性を高め、比較可能にし、理解を容易にすること。
- ・NPO法人の財務諸表等の作成責任者に会計の指針を提供すること。

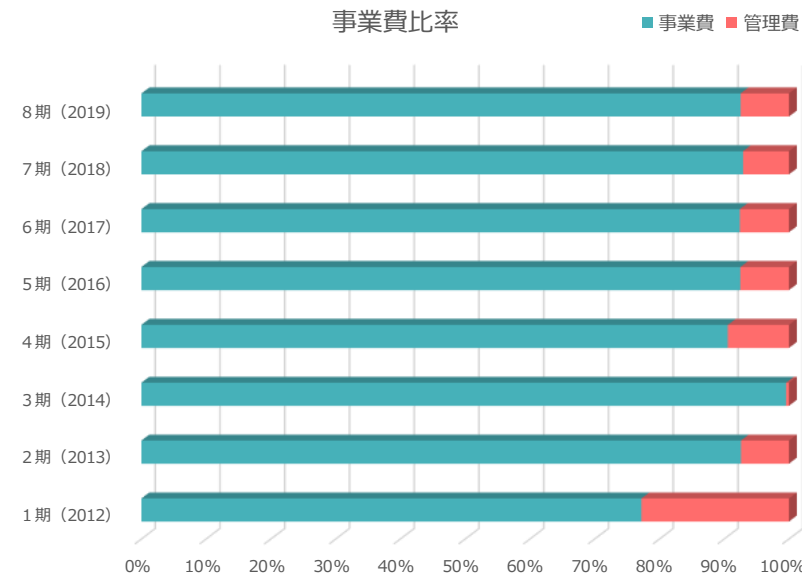
以上の目的を達成するため、NPO法人会計基準に従いNPO法人の財務諸表を作成しております。

2019年度収益の内訳



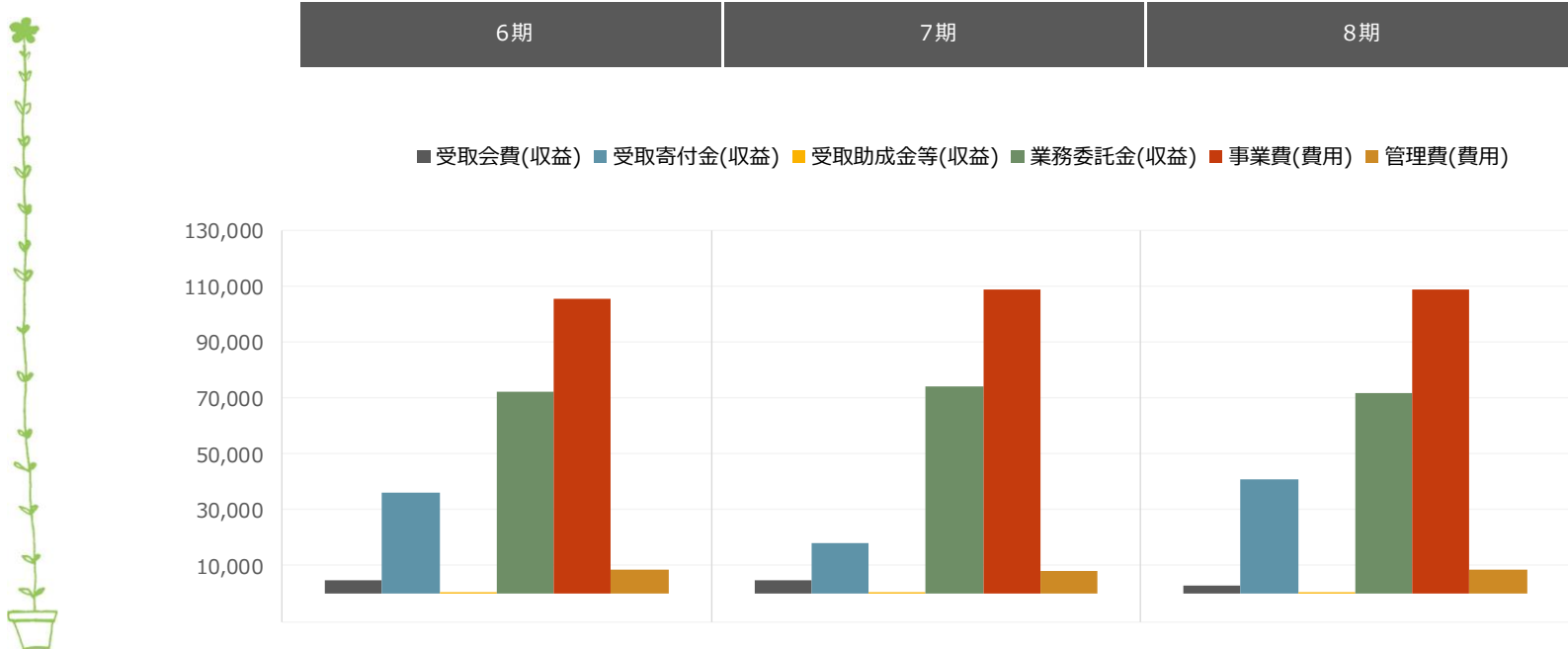
2019年度も法人個人の方々のご支援をいただき、事業の運営を行うことができました。
継続的なご支援ありがとうございました。
郡山市からの業務委託金が全体の6.2%、受取寄付金及び会員様からの会費が3.7%となっております。

事業費比率推移



収益及び費用推移

(単位: 千円)



項目	6期	7期	8期
受取会費(収益)	4,800	4,538	3,053
受取寄付金(収益)	36,171	18,054	40,605
受取助成金等(収益)	696	71	107
業務委託金(収益)	72,304	74,221	71,878
事業費(費用)	105,382	108,625	108,834
管理費(費用)	8,656	8,307	8,775
当期経常増減額	-67	-20,048	-1,966

財務会計報告

1.活動計算書

(単位: 千円)

科目			2017年度決算	2018年度決算	2019年度決算
経常収益	受取会費	正会員受取会費	400	340	370
		賛助会員受取会費	4,400	4,198	2,683
		受取会費計	4,800	4,538	3,053
	寄付金	受取寄付金	36,171	18,054	40,605
		寄付金計	36,171	18,054	40,605
	委託金他	受取助成金	600		
		受取入会金	40	10	
		業務委託金	72,304	74,221	71,878
		その他収益	57	62	109
		委託金他計	73,001	74,293	71,987
	経常収益計		113,972	96,885	115,645
経常費用	事業費	人件費計	49,485	57,789	57,847
		その他の経費計	55,897	50,836	50,987
		事業費計	105,382	108,625	108,834
	管理費	人件費計	7,608	7,364	7,879
		その他の経費計	1,050	944	898
		管理費計	8,658	8,308	8,777
	経常費用計		114,040	116,933	117,611
	当期経常増減額		-67	-20,048	-1,966

2.貸借対照表(2020年3月31日現在)

(単位: 千円)

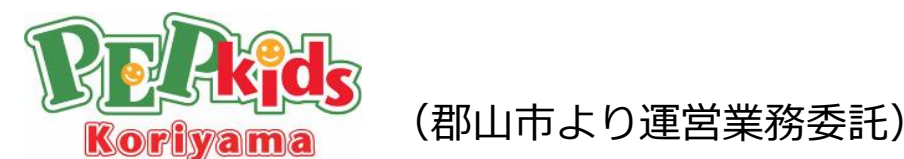
資産の部				負債の部			
流動資産	2017年度	2018年度	2019年度	流動負債	2017年度	2018年度	2019年度
現金・小口現金	386	416	351	未払費用	5,584	8,009	4,739
普通預金	35,301	24,995	23,786	前受金		15	
定期預金	15,500	15,501	12,501	未払法人税等	1,918	1,183	2,309
未収金	10,044	5,090	4,653	その他	1,046	1,080	597
その他	206	200	151	流動負債合計	8,548	10,287	7,645
流動資産合計	61,437	46,202	41,442	固定負債			
固定資産							
有形固定資産							
什器備品	5,869	3,485	4,227				
有形固定資産	489	236		固定負債合計	0	0	0
有形固定資産合計	6,358	3,721	4,227	負債の部合計	8,548	10,287	7,645
無形固定資産				正味財産の部			
ソフトウェア	1,441	979	516	正味財産	2017年度	2018年度	2019年度
無形固定資産合計	1,441	979	516				
投資その他の資産							
保証金	48						
投資その他の資産合計	48	0	0	前期繰越正味財産額	60,874	60,735	40,615
固定資産合計	7,847	4,700	4,743	当期正味財産増減額	▲139	▲20,120	▲2,075
資産合計	69,284	50,902	46,185	正味財産の部合計	60,735	40,615	38,540
				負債・正味財産合計	69,284	50,902	46,185

法人について



〒963-8803 福島県郡山市横塚一丁目1-3
TEL : 024-942-6777
FAX : 024-942-6778
メール : info@pepnet.jp
ホームページ : <http://pepnet.jp/>
Facebook : <https://www.facebook.com/pep.koriyama/>

設立 : 2012年5月24日
代表者 : 理事長 菊池 信太郎
決算期 : 3月(年1回)
従業員数 : 31名(2020年3月末現在、パートタイマー・アルバイト含む)



所在地は同上
TEL : 024-935-5232
ホームページ : <http://pep-kids-Koriyama.com/>
Instagram : <https://www.instagram.com/pepkids.koriyama/>

ホームページ インスタグラム



ご支援のお願い

当法人は子どもたちのために今後も鋭意活動を継続してまいります。
活動に対するご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

年度会費でのご支援

会員種別	年会費(一口)
正会員(個人・団体)	10,000円
賛助会員(個人)	5,000円
賛助会員(団体)	10,000円

※ 正会員は入会金10,000円が別途かかります。
※ 正会員の会費は税制優遇措置の対象外となります。

ご寄附でのご支援

当法人は認定NPO法人であるため、税制優遇がございます。

① 個人が寄附した場合

個人が当法人に寄附した場合「寄附金控除制度」が適用され、確定申告をすることで税金の還付を受けることができます。「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択することができます。

② 法人が寄附した場合

一般の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられており、その範囲内損金算入が認められます。

③ 相続人などが寄附した相続財産等に対する措置

相続または遺贈により財産を取得した人が、その取得した財産を相続税の申告期限まで

当法人に寄附した場合は、その寄附した財産が相続税の課税対象から外れます。

振込先口座(年度会費・ご寄附共通)

ゆうちょ銀行からのお振込みの場合

番号 : 02280-9 口座番号 : 136312
加入者名 : NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク
(コオリヤマペップコソダテネットワーク)

他の金融機関からのお振込みの場合

東邦銀行 郡山駅前支店 店番号 : 口座番号 : 普通) 1089439
口座名義 : 認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク
(ニンティエヌピーオーハウジンコオリヤマペップコソダテネットワーク)